

開 会 令和5年8月22日（火）午後1時30分
閉 会 令和5年8月22日（火）午後2時55分

令和5年度第1回金ヶ崎町子ども・子育て会議
会議録

金ヶ崎町子育て支援課

令和5年度第1回金ケ崎町子ども・子育て会議会議録

令和5年8月22日(火)午後1時30分金ケ崎町役場4階大会議室において、金ケ崎町子ども・子育て会議を開催した。

1. 出席委員

会長	吉田 泰治	副会長	渡辺 理恵
委員	菊地 春香	委員	渡邊つる代
委員	高橋 修	委員	千枝 徳三
委員	小野寺謙一	委員	千葉 勝
委員	鹿島 麻衣	委員	扇 良明
委員	照井 崇経		

2. 欠席委員

委員	高橋 邦博	委員	菊池 直美
委員	高橋 和博	委員	佐藤 薫

3. 町出席者

高橋町長

【関係課】

教育委員会事務局 教育次長 千葉重徳、次長補佐 及川博、

主査 市橋美花、主事 菊地祥

住民課 係長 内藤まゆみ 生活環境課 主事 小原莉世

商工観光課 課長補佐 星幸子 都市建設課 主事 佐藤真仁

中央生涯教育センター 係長 松本浩和

保健福祉センター 主事 橋本好美

【事務局】

子育て支援課 課長 稲葉郁子、課長補佐、浅利英克、副主幹 菊地淑子

係長 柴田志穂、主事 及川真人

4. 傍 聴 人 3 人（うち報道機関 2 人、子ども同伴 1 人）

5. 会 議

〔1. 開会〕

稲葉課長 令和 5 年度第 1 回子ども・子育て会議を始めさせていただきます。

本日、高橋邦博委員、菊池直美委員、高橋和博委員、佐藤薫委員より欠席の報告をいただいております。

本会議は、金ケ崎町子ども子育て会議条例第 6 条第 2 項により委員の半数が出席しており、定足数に達しておりますので、本会議は成立しております。

それでは、金ケ崎町長高橋寛寿より皆様にご挨拶申し上げます。

〔2. 挨拶〕

町長 本日は令和 5 年の第 1 回金ケ崎町子ども・子育て会議ということで、ご案内を差し上げましたところ、本当にお忙しい中、お時間をいただきまして、多くの委員の方々にお集まりいただきましたこと、改めて御礼を申し上げます。

皆さんご存知の通り、この子ども・子育て会議につきましては、子ども・子育て支援法が平成 24 年に制定をされまして、これに基づいて、市町村が行う子ども子育ての支援に対する各種施策について、ご意見をいただくということをお願いをしてくれているところでございます。

この会議はすでにご存知の通り、全国的に少子化という課題が取り上げられてから久しいわけでございますけれども。金ケ崎町におきましても、この少子化については、大きな課題となっております。この会議ができました、概ね 10 年ほど前は年間の子どもの出生が概ね 120 名ほどでございました。これが令和の時代になりまして、100 人を切っておりますね。ここ二、三年では 90 名という状況でございまして。まさに少子化が数字の上でも表れているかなと思っております。ところでございます。

なぜこんなに少子化なのか。本当に残念なところがございますが、実は金ヶ崎町に届け出をいただいております。この人数。結婚しましたというふうにお届けをいただく数字も、年で前後しますけれども、10年前は概ね80組ほどですね、いただいていたのが、昨年は44組という状況ということで、かなりこれもショッキングな数字かなというふうに思っております。その背景にはですね、細かな数字については省略いたしますけれども、いわゆる若者世代、生産年齢人口と言われる人の数が、この十年間で10%以上減少している。特に言われておりますがその中でも20・30・40代の女性の方の町外への流出というのが大きいという指摘をいただいてもいいところでございまして。

この子ども子育て会議。基本的には子育てという言葉で表されてはおりますけれども。皆様すでにお気づきの通り、この各種施策の検討にあたりましては、子育てに加えて、若者が元気に若者にやさしい、そういうその地域づくりというものを同時に考えてご意見をいただくということが重要ではないかなと感じているところでございまして、おそらくこの感覚というのは、皆さんと共通であると思っております。

本日は、昨年の実績と今年の実績に対してご意見をいただくということでお願いをしております。幅広い観点、忌憚のないご意見をいただきたいというふうに思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。本日は本当にお忙しいところありがとうございます。

〔3. 役員選出〕

稲葉課長 それでは続きまして次第の3役員選出に入ります。役員選出ですが、会長が選任されますので、町長が議長を務めます。町長お願いいたします。

町長 それでは、会長、副会長が決まりますまでの間、仮議長を務めさせていただきます。ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

げます。それではですね本会議の条例の第5条に定められております、会長1名、副会長1名については、委員の互選とするということで定められております。どのような方法で選出をいたしましたらよろしいか。ご発言をお願いをしたいと思います。

どなたかございませんでしょうか。他薦自薦など。

(事務局一任の声)

町長 ただいまの事務局案の提示というご発言かと思いますが、いただきました。それでよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

町長 ありがとうございます。それでは事務局お願いします。

事務局 事務局案につきましては、会長に三ヶ尻小学校校長の吉田泰治様、副会長に子育て支援センター所長の渡辺理恵様をお願いしたいと考えております。

町長 ただいま、事務局案につきまして、発表させていただきました。これにご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声)

町長 ありがとうございます。それでは会長に吉田様、副会長に渡辺様、決定をさせていただきます。どうぞよろしく願いをいたします。

稲葉課長 それでは、会長、副会長より、それぞれご挨拶をいただきたいと思います。そのまま自席にてお願いいたします。初めに吉田会長お願いいたします。

吉田会長 金ヶ崎町5校の小学校1校の中学校の校長で編成しております、金ヶ崎町小中学校校長会の担当として参っております。三ヶ尻小学校の校長、吉田泰治と申します。子育てにおける学校教育の重要性は十分承知しているつもりではありますが、やはりこの少子化、それから複雑化する世の中で、それぞれの立場で子どもたちに手を差し伸べていくことが、子どもたちの健全育成には必ず必要だと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

稲葉課長 ありがとうございます。続きまして、渡辺副会長お願いします。

渡辺副会長 金ヶ崎町子育て支援センターの渡辺です。どうぞよろしくお願

いたします。昨年度までは保育園で勤務しておりました。今年から初めて子育て支援センターでの勤務となりましたが、毎日のように、お母さん方が10組ほど、お母さんだけではなく、お父さんやおじいちゃんおばあちゃんがよく利用されております。毎日子育て頑張っているお母さん達に、ほっとできる場を今提供しているところです。副会長として、いろいろ学ばせていただきますので、皆さんよろしく願いいたします。

稲葉課長 ありがとうございます。それではこの後の進行につきましては、会長の吉田様に議長をお願いしたいと思います。前の席へお進み願います。

 なお、町長は公務のためここで退席をさせていただきます。

(町長退席)

〔4. 報告〕

吉田会長 本日の会議は、報告が1件、協議が1件あります。

 まず、報告から進めて参りたいと思います。「(1) 金ヶ崎町子ども・子育て支援事業計画 令和4年度実績報告、令和5年度取組について」。

 質疑応答につきましては、説明が終わってから一括で行うことといたします。事務局、説明をお願いします。

事務局 (金ヶ崎町子ども・子育て会議条例及び子ども・子育て支援法第72条第1項に基づき、委員の所掌事務を説明)
 (金ヶ崎町子ども・子育て支援事業計画令和4年度実績報告、令和5年度取組について説明)

吉田会長 ただ今の件につきまして、ご意見、ご質問をいただきたいと思えます。どの事業からでも結構ですので、関連する番号等述べながらご意見いただければと思えます。

高橋委員 No.45「弁当の日」は、弁当を作ることが目的ではなくて、「携わることにより食への関心を高めることを目指す」ということですが、聞くところによると、「弁当の日」というよりも地区では

「お母さんたちの苦痛の日」となっているようですが、「弁当の日」の目的に沿った効果が出ているのかどうか。弁当の日の趣旨が生かされるようになってきているかを何によって図っているのか、何をもって達成されていることが分かるのかを聞きたいと思います。

No.60「学力向上対策委員会」とありますが、先ごろ全国学力テストの結果が報道されました。最近、岩手県にとってネガティブな数字が報道されました。学力について、中学生が特に低い、全国下から2番目です。数学と英語がどちらも下から2番目です。報道は岩手県の全体でしたから、金ケ崎町自体はそれより上回っていると期待しております。小学校は平均以上ですが、この結果を受けて、中学校が全国下から2番目という状況で、金ケ崎町も力入れているわけで、県全体としての対応なり、課題意識が共有化されているのか。例えば、町独自として今後に向けて何があるのか。もちろん学力テストで全て決まるものではありませんが、全国共通のもので、見方としては参考にせざるを得ないこともあると思っています。岩手県は学力テストを止めたほうが良いとしていることもどうかと思いますが、その辺はどう代替が出ているのか、お聞きしたい。その2項目を、お願いします。

吉田会長 No.45の「弁当の日」の効果の検証について、No.60の学力向上に関わる対策について、説明をお願いします。

教育次長 No.45「弁当の日」について、昨年度、私着任いたしました。何となく皆様から、なかなか大変な日であるということをお聞きしておりました。が、昨年度末の会議の中で、今年度も実施するというので、実際行っているわけですが、ご指摘をいただいた通り、効果が出ているのか、そもそもこの趣旨に沿って弁当を作っているのか、実態は難しいですということ、学校の効果を聞いております。ですので、今年度また改めて考える場面において、効果はどのようなかということもですが、趣旨がどう周知されているかというところから見直して、どう実施していけばいいのか考え直さなくてはならないと思っていますところでございます。

No.60「学力向上対策委員会」、全国学力・学習状況調査について、岩手県では全国学力・学習状況調査が始まって以来、ずっと中学校の低迷が続いており、県教育委員会を中心に、常に大きな課題と捉えて、それぞれの評価なり、あるいはそれぞれの市町村で、力を入れて取り組んでいるところでございます。ただ、数値として見える効果がなかなか表れずに、今回もご指摘のあった通りとなってしまうわけです。が、学校の一番は学力向上ですので、金ケ崎町としても、日々の授業の質の向上であるとか、各学校の研究テーマに対して町教育委員会がどのように支援していけるかとかについて、取り組んでいるところでございます。数値に見えないところ、成果としてあらわれないところ、大きな課題だと思っております。今後引き続き力を入れて取り組んでいきたいと考えているところでございます。

高橋委員

「弁当の日」について、このような状況になっていますので、ただ継続することに意義があることだけではなく、答えたように改善していただければと思います。

学力向上について、学力だけで全て決まるというものではなくて、岩手県の高校は全国で比較的良いという話を聞きましたので、義務教育だけが全てではないと思いますが、いろんな方面からよろしくお願ひしたいと思います。

吉田会長

その他、ご質問ご意見ないでしょうか。

小野寺委員

No.8「教育・保育に関する専門性を有する指導主事・幼児教育アドバイザーの配置・確保について」は、そもそも能力のある先生や保育士を指導するアドバイザーのことなのか。研修会の実施とありますが、専門性を高める表現になっています。対象は誰であり、子ども達にどの程度影響を及ぶかよく分かりませんでした。

No.18「町ホームページ及びモバイルメールを活用した情報の発信」について、大事な子ども達の生命と身体安全守るという観点から言えば、健康でなければならない。それで、No.18のホームページ、モバイルメールの情報で定期配信とありますが、年に何回

ぐらい配信して、カウント等はなされるでしょうか。

No.21 から 38 までは非常に良いなと思った事業で、全て数値化された実績が入っています。目標も 100%を目指すとありますので、項目をきちんと広げながら、100%にできる限り近づいて欲しい。子ども達のスタートラインの部分ですので、感心してみさせていただきました。

No.64「家庭教育支援チームの育成」について、事業評価シートに 100 項目ほどありますが、数値化を伴うものは除くと、子育て支援包括支援センターと家庭教育支援チームにほぼ集約されてくるのではないかと思いました。それほどこれって大事なことなのかなと思ひまして。と申しますのは、生まれて育てて、保育園や認定こども園に上がり、小学校に行く。その間がやはり大事な時期で、子どもに対する情報が保護者から正しく保育園や認定こども園に伝わっているか。その情報が、小学校にも正しく伝わっているか。理解ある伝わり方をしているか。その部分を支援していただけるのであれば、本当に大事なものだと思ひます。

アトピーやアレルギー、食事、発育、色々なことを抱えて子育てしていると、比較するものもなく、初めてのことが多すぎる中で、子育て支援包括支援センターと家庭教育支援チームというような体制があることは素晴らしいと思ひました。数値化された部分は 100%を目指しており、5 年の結果を見て、そういう感想を持ちました。もう少し足りない部分を教えていただければと思ひます。

教育次長

No. 8 について、指導主事は、金ヶ崎町教育委員会に毎年 1 名配置されております。幼児教育アドバイザーは、設置について、まだ具体化となっていないのですが、県の大きな流れとして、何らかの形でこのアドバイザーというのを、例えば金ヶ崎町に配置付けるか、県のアドバイザーを活用したいということを考えている最中でございます。で、こちらはアドバイザーが設置をされておられませんので、指導主事が研修会の講師なり助言者として、教育保育について、助言を行うという研修会を実施しながら、教育の質を高めていると

いうものになっております。

No.64「家庭教育支援チームの育成」について、現実のところ、教育委員会に家庭教育支援チームリーダーという方が1名配置されております。そして、多くの場合、学校で何か保護者の悩みを発見していただき、このチームリーダーに繋いでいただくというパターンが多くなっているように把握しております。ただ、その方を中心にチームを上手に動かしてチームでフォローするという体制がどこまで機能しているかという点につきましては、教育委員会事務局内の1名しかいないものですから、そこが教育委員会としての課題だなというふうに考えております。今後どのようにこのところ、支援チームリーダーを活用していけばいいか、それからチームとして、どこまでこう組織としてのフォローができるかっていうところを考えているところでございます。

稲葉課長

子育て支援包括センターについて、子ども世帯に切れ目のない支援ということで、生まれてから子ども達が成長していく段階です。新しくこども家庭庁もできまして、子どもという年齢の線引きも、今後はなくなっていく流れではあります。町の中でも、相談窓口の一本化といいながらも、各課の様々な事業について、専門の中でお互い横の連携をしながら、体制を構築しているところでございます。また、関係機関で相談を受けたものについて情報をいただき、子ども達やその家庭に寄り添った支援を進めていきたいと取り組んでいるところでございます。さらに足りないこと、このようにした方が良いというご意見も出てくるのかもしれませんが。皆様からの意見を真摯に受けとめながら改善し、進んでいきたいと考えているところでございます。

事務局（菊地副主幹） No.18「町ホームページ及びモバイルメールを活用した情報の発信」について、「すこやか子ども情報」は、登録されている方に毎月1回情報発信になっている状況です。カウント数については、総務課に確認しなければ数字を把握しておりませんので、確認後に報告させていただきます。

No.21～38 について、100%に近づくように、日々の業務の中で対応しているところです。まずは検診に来ていただき、検診が終わった後の事後フォローの方々も、発達等を確認しながら、子どもの健やかな成長というところに、お母さん方に寄り添ってもらうため、声掛けしながら、受診勧奨をしながら取り組んでおります。引き続き目標に向けて努力していきたいと思っております。

小野寺委員 数字については、私は立派な数字と思いながら、目標 100%とありますので、ぜひこれからも頑張ってくださいという意味でしてございましたので、誤解のないよう、よろしくお願いいたします。

事務局（菊地副主幹） 先ほど「すこやか子ども情報」のカウントを総務課に確認すると申し上げましたが、数字として捉えられないかもしれないので、確認できましたら報告ということで、よろしくお願いいたします。

吉田会長 次のご意見に移りたいと思いますが、どなたかございますか。

千枝委員 No.67「公園の管理」に関わりまして、アンケートを取ったデータで、公園へのニーズが多いという検討結果もありましたが、私も金ケ崎に住んでみて、子ども達が自由に遊べる公園、親子で一緒に過ごせる公園は、実際どれぐらいあるのかなと思っています。私は荒巻公園の近くに住んでおり、そんな広くないけど良い公園だなと思っています。町内で子ども達が自由に遊べる公園は何箇所あるかお伺いします。もう一つは金ケ崎にもっと広い公園があつて良いのではないかと常々思っています。広々として森林豊かで、たくさんの遊具があつて、家族で楽しめる公園があつて良いのではないかと。金ケ崎に住んでみようかなという一因にもなると思えます。今後、さらに公園を造成する考えはあるかお伺いします。

吉田会長 公園の現状と今後の方向性について、都市建設課から説明をお願いします。

都市建設課（佐藤主事） 公園の箇所数ですが、町内には、森山総合公園や千貫石森林公園の大きいものや住宅地にある小さいものを含めて 44 箇所ございます。新しく広々とした公園の整備は、現在は荒巻公園を

中心に遊具を設置して整備を進める方針で、昨年度、ソフトボール場の隣に児童用の遊具を新設したところでもあります。新たな公園が必要かどうかは、課内で検討させていただければと思います。

千枝委員 荒巻公園を含めた公園の活用状況はどうでしょうか。

都市建設課（佐藤主事） 活用状況について、公園は開かれた施設という性質もありまして、日常的に何名程度使用しているか、カウント自体は行っておりません。活用が活発的に行われている公園は、駐車場を有する荒巻公園やせせらぎ公園で、優先付けて更新を進めています。

千枝委員 新たに荒巻公園と同じ規模の公園を造ることは、町としては考えていないか。

都市建設課（佐藤主事） 現在、課内ではそのような議論はしておりません。

千枝委員 希望したいです。町には、もっと大きく、家族でゆったり遊べる公園があっても良いのではないか。小さい公園がいっぱいあっても仕方ない。使える公園があったほうが良いと思います。

吉田会長 三ヶ尻小学校には、荒巻という住所の児童が何人もいます。荒巻公園は三ヶ尻小学校の学区外で、第一小学校の学区となっています。小学校には学区外に子どもだけで出ていけないというルールがあります。他の公園で買い食いをした児童が問題となり、その際に荒巻公園は学区外でもいいのかという話になって、調べた結果、学区外だったことが先日判りました。それで、校長として荒巻公園で遊べるか否か決断することになったのですが、結論としては、従来の伝統的な遊び方から考えて、荒巻公園を遊び禁止とすることはすぐわないという判断で、第一小学校とも交渉し、遊びに行くことを許可しました。千枝委員がおっしゃるとおり、大きくて家族で行ける公園を整備していくとともに、子どもだけでも通える身近な遊び場を整備していくことが、小学生にとっては良いのではないかと考えております。いかがでしょうか。

都市建設課（佐藤主事） 今回の意見を参考の上、課内で協議したいと思います。

吉田会長 他にございませんか。それでは、ご意見ご質問は以上でよろしいでしょうか。

で、少ない人数よりは、もう少し子どものいる園で、一緒に通えたらいいのではないかなと思いました。

吉田会長 その他ご意見ないでしょうか。

小野寺委員 4歳児5歳児は5年度と6年度に卒園で、3歳児は5歳になってから移るという形をお考えですか。

教育委員会事務局（及川補佐） 三ヶ尻幼稚園に在園されている現在の3歳児については、三ヶ尻幼稚園閉園時には、認定こども園南方幼稚園へ転園することを基本として考えていますが、保護者のご希望等がありましたら、六原幼稚園への転園も応じたいと考えています。

小野寺委員 3歳児が5歳児になったときに他の幼稚園に移るという考え方をすればいいのか、例えば3歳のときに他に編入できるのか。親や子ども達を中心に組み立てる選択肢を用意したり、心構えや体制が優先されたりすると良いなという思いはあります。

教育委員会事務局（及川補佐） 今、町で考えているだけではなくて説明会等でも保護者からお話いただいております。3歳児の保護者は、5歳児までの令和6年度末まで、三ヶ尻幼稚園に在園するという話を聞いております。でも、こちらとしては、いきなり5歳児になって南方幼稚園に転園ということは難しいだろうということで、来年度は1年間かけて、三ヶ尻幼稚園と現在転園予定の南方幼稚園との両園で交流事業を持ちまして、見知った顔がない状態でいきなり転園することがないようにしたいと考えております。

吉田会長 他ご意見ないでしょうか。

鹿島委員 幼稚園は、地区外でも普通にいろんな園に通ったりするところですが、金ヶ崎町は基本的に住所を置いている地区の幼稚園に入るのですか。もともと幼稚園を選べないのですか。

教育委員会事務局（及川補佐） 保護者の希望等により、地元だけというわけではなくて、他の園にも入園等ができることになっています。

吉田会長 他にございませんか。

高橋委員 建物がなくなることは残念な思いがしますが、保育ニーズが高まって、少子化も重なり、このような状況になっていると理解する

ところです。赤門幼稚園に代わって三ヶ尻幼稚園ができたと思いますが、三ヶ尻幼稚園として開園した時期は何年ですか。

教育委員会事務局（及川補佐） 現在、開園から 31 年経っているかと思います。

吉田会長 その他、ございませんか。

では、本会議としましては、多少寂しい部分はございますが、閉園と教育効果を考えた場合に、閉園やむなしと。ただし、現在在園している児童及び家庭への配慮を十分した上でというご意見等をまとめてよろしいでしょうか。教育委員会いかがでしょう。

（異議なしの声）

吉田会長 それでは、（2）その他です。皆さんから子育て支援事業について、ご意見ご質問等はないでしょうか。

（なしの声）

吉田会長 では、以上で報告・協議のどちらも終わりにします。ご意見活発にありがとうございました。

〔6. その他〕

稲葉課長 吉田会長、ありがとうございました。

それでは、次第 6. その他です。皆様から何かございませんか。

（なしの声）

稲葉課長 それでは、事務局より報告がございますので、説明します。

事務局 次の会議について、第 2 期金ヶ崎町子ども子育て支援事業計画が 2025 年 3 月で計画の期間が終了となり、第 3 期計画の策定の準備としてニーズ調査を今年度を実施する予定です。調査内容について、委員の皆様からご意見をいただくため、10 月ごろに会議を開きたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

稲葉課長 皆様から確認したい事項等ございませんか。よろしいですか。

（なしの声）

〔7. 閉会〕

稲葉課長 それでは、本日の会議につきましては、以上をもちまして終了とさせていただきます。どうもお疲れ様でございました。